

聴く 動く 常任委員会

見て・聴いて・考えた



新たなテーマで

各委員会では、それぞれテーマを掲げて調査・研究に取り組んでいます。

調査レポート



見て・聴いて・考えた



調査研究



町議会HP 委員会構成

9月定例会では、新たなテーマで始まった委員会の内容が報告されました。

総務経済常任委員会 有害鳥獣対策

アライグマは年間300頭以上捕獲

生活環境の被害では、家屋にすみつくなど、アライグマが目立っています。野生化したアライグマの繁殖力は強く、生態系に悪影響があります。箱わなによる捕獲頭数はここ数年急増し、28年度は338頭。

主な質疑

問 地域的な取り組みの考え及び関係課の連携は。

答 箱わな等の設置には免許が必要だが、アライグマについては捕獲と安全に関する知識と技術を持つ人は、従事者として依頼できる。県・町では講習会等を実施し、従事者を養成。従事者は各地区にいるので、地域的な取り組みを考えていきたい。町の担当課も情報を共有し、警察等とも連携していきたい。

イノシシ被害は町内全域に

農作物被害は、荒廃農地の増加が一因と考えられます。イノシシは町内全域で被害があり、特に3～11月の被害が深刻です。28年度の通報件数は、イノシシ80件、アライグマ8件など92件。1年を通して駆除を行うほか、電気柵の無償貸し出しも行っています。26年度から補助金を交付。28年度からは野生鳥獣が近づきにくい環境づくり事業も補助対象となっています。



暗視センサーカメラで写された夜のイノシシ



小野田房良さん(折原)
シカやイノシシを、一網打尽に駆除するのか、寄居産ジビエとして利用するか……みんなで考えましょう。

町民からひとこと



吉田 滋さん(西部)
今年は電気柵で被害は逃れました。鳥獣の保護も大切ですが、作物や人畜を守る積極的な駆除が必要だと思います。

子育て支援や不妊治療費助成

町では、子育て支援による少子化対策事業、不妊治療費助成事業、教育など多くの事業を行っています。

経済的支援のほか教育対策も

出生児に対する子育て支援交付金、子どもが病気やケガなどで受診したとき町が医療費を支給する「こども医療費支給事業」など、子育て家庭や保護者への経済的な支援。また乳幼児に対する「こにちは赤ちゃん事業」や「赤ちゃんの駅」、子育て応援ブックや祖父母手帳の配布などの子育てによる少子化対策事業、学校給食費補助事業、「より・E土曜塾」及び中学生英検無償化事業を実施中です。

主な質疑

問 町の出生数と合計特殊出生率、出生率の状況は。

答 出生数は平成20年度が248人、以降は200人前後、平成28年度が216人。合計特殊出生率は、平成27年で全国平均が1.45、埼玉県が1.39、寄居町が1.25。

平成28年度の出生数は前年度に比べ若干回復。引き続き、子育て支援事業を実施し、子育てしやすい環境を整えていきます。



多くの事業が掲載されている子育て応援ブック



早津厚子さん(市街地)
若い世代には、出産や子育てにかかる経済的負担が重い。それを軽減するための施策が必要だと思います。

町民からひとこと



平井秀樹さん(西部)
寄居町は交通網はよいが、働く場がない。企業を誘致して若い人たちに来てもらいたいですね。

議会広報広聴特別委員会 議会他議会の編集・発行



私たちが刺激をもらいました! (峯岸委員長)

- 6月～9月に 来町いただいた議会
- 6/27 東秩父村議会
 - 7/19 三重県東員町議会
 - 7/28 兵庫県丹波市議会
 - 8/ 3 群馬県吉岡町議会
 - 8/29 宮城県登米市議会
 - 9/29 山梨県昭和町議会



登米市議会 曰下 俊委員長

議会だより85号 編集作業のほか、

当委員会では、議会だより編集のほか、視察来町に委員会に対応し、活発な議会広報の意見交換をしました。

寄居町議会だよりは、審議内容を伝える特集記事や次ページの記事紹介などをはじめ、多くの住民が登場するなど、読みやすく、親しみやすい工夫がちりばめられています。編集作業においても参考とすべき点が多く、今後の広報広聴活動に大いに参考とさせていただきます。

視察来町にも対応

寄居町議会だよりは、手に取ってもらうために工夫し、読み手の目線から改革しているのが伝わってきましたし、多くの町民の声を掲載していることも、新鮮な発想でした。特集で審議内容をよりわかりやすく掲載するなど読みやすい紙面づくりを心がけ、各ページのQRコードで紙面とデジタルの連携を図っていることにも興味を引かれました。



東員町議会 石垣智矢委員長

全国町村議会広報研修会 214町村の議員とともに学ぶ



9月28日に東京で開催された議会広報研修会には、214町村約1000人が参加。寄居町は委員会全員が出席し、電子広報の動きや優秀広報紙から学ぶべき点などの講義を受けました。